

# MON WORKS TV



FOR ADULTS



ふえん

恥ずかしいですう

「ふえっん 恥ずかしいですう」  
朝比奈さんがまたハルヒに苛められている  
いつもの事とはいえ、この水着はヤバいんじゃないのか

「キヨシちゃん撮ってる？」  
「ほらほら、すぐくHでしよう」

朝比奈さんが  
身体をくねらせるたびに  
豊満な胸がタワタワと揺れ  
今にも水着から  
はみ出しそうになる。  
見物人もどんどん増えてきて、  
まさに晒し者状態だ

今すぐ止めさせるべきなのだろうが  
朝比奈さん、あなたのその犯罪的な身体が

俺にシャッターを押せと  
命令するのですよー

しかし、何で朝比奈さんは下の毛を  
全部剃ってるんだ？  
今日の為に自分で：

いやいやハルヒに無理やり  
剃られたに違いない  
：いかん、この食い込みを見ていると  
勃ってしまいそうだ！

ぬちゅ

「さあ、日焼け止め塗ってあげるわ」  
「いやあ、自分でやりますう」  
「だめですう」

ハルヒに揉まれて朝比奈さんの胸は  
別の生き物のように蠢いていた  
おおっ！  
乳ってこんなに變形するんだ  
…って感心してる場合じゃないぞ！

おいハルヒ！  
朝比奈さんの○○○○コが丸見えだぞ！  
「やああ、キョンくん見ないでえ」

全員の眼が朝比奈さんの  
オ○○○に釘付けになる  
綺麗なピンク色をしたそこは  
愛液でヌラヌラと光っていた

ぐちよお

我に返った俺は  
朝比奈さんの手を取り、  
その場から脱出した後でハルヒが  
何か叫んでいるが  
気にしてる場合じゃない  
通報されれば俺達が  
公然ワイセツで逮捕されるのだ

優しい言葉を掛けながら俺のアソコは  
競泳パンツからはみ出す程に勃起していた

人のいない岩陰に隠れると朝比奈さんは俺の胸で泣き出した  
「ふえ〜ん 恥ずかしかった キョんくん キョんくん」  
「大丈夫ですよ朝比奈さん、俺がついてますから」

はあ

「キョんくん…もうこんな私を  
お嫁さんになんか貰ってくれないよね？」  
「すがるような眼差しで見つめられ、  
俺の自制心は崩壊寸前だあ〜」

「キョんくんなら…私…私…」  
もう、どうにでもなれ！  
俺は朝比奈さんを抱きしめキスをした  
水着が食い込んだ割れ目に指を這わせると  
そこは熱い愛液で溢れていた  
「あん…うん…恥ずかしい…そんなに弄らないで…」

ぬちよ

「朝比奈さん、自分で入れてみて」  
朝比奈さんは不慣れな手付きて  
俺の「一物を自分のアソコにあてがった

俺の肉棒は程よいヌメリと抵抗で  
ゆっくりと朝比奈さんの中へ沈んでいく  
「ん…あつ…ああん…う…ん」

全てを呑み込むと  
朝比奈さんは眼を閉じて動かさない  
少しでも動くと声が出そうで  
耐えているという感じが可愛い  
俺は本能の従うままに腰を突き上げた  
「ひゃん！ キョンくん ため…あん  
ああん…いいん」

ぬぷちゅ

ビクッ

最初は翻弄されてるだけ  
だった朝比奈さんが  
自分から腰を振りはじめた  
「あああ…いい…いいの  
…キョンくん…  
キョンくん」  
さらに激しく腰を振る  
朝比奈さんの中で  
俺の「一物は爆発寸前だ

ビクッ

今この状況をハルヒに見られ  
世界が崩壊してもいい  
津波のように押し寄せる  
快感の中で俺はそう考えていた

「これ…試してみたい」

こっ  
これは谷口に借りたエロ本！  
「なっ長門！お前どこからこれを…  
いや…それは有害図書と言ってな  
お前の読むような  
本じゃないんだぞ！  
さあ返しなさい」

# エロ大

フェラ  
大好きっ娘  
AV女優  
BEST 10

「大丈夫…私にまかせて…」

おっ…か…身体が動かない！  
また例の…情報制御空間って…奴か！

ああ長門の小さい舌があ  
こ…こ乳首を舐めるな  
ああそこ急所かも

アルギニンを基質として  
一酸化窒素が合成…  
細胞内のCaイオンレベルが低下…  
海綿体平滑筋が弛緩…  
動脈血が海綿体洞に流入…

大きくて…硬い…  
これが貴方のペニス…



何だか身体が熱い…  
性器にも分泌液が…

私という固体が…  
彼を求めている…？

長門が俺のチンポを咥えている…  
おお…先端を吸いながら  
舌でチロチロと舐めている  
くっ…お前いつの間にか  
そんなテクニクを

貴方が感じているのがわかる…  
それが私の意識を高揚させる…

貴方を満足させる事が私の満足…  
貴方の喜びが私の喜びになる  
これが有機生命体の…愛…？

ペロ  
ペロ

じゅっぱ  
じゅっぱ





「うおっ！……うううっ！」

長門の頬はほんのりとピンク色に染まっていた  
長門は俺の精液を口一杯に溜めたまま  
俺をじっと見つめている  
その眼には今までに無い感情の光が見えたような気がした



気が付くと  
何時もと同じ  
時間が  
流れていた  
さっきの行為は  
誰も知る事は  
ないだろう



長門 お前は何を考えて……！

あ 飲んだ……



……しかし……  
こいつはHな本を見つけたら  
俺で実験する気なのかあ！？  
そいつは嬉し……いや、困る！！  
それがハードSMだったら  
どうするんだ！

# ナタルの 性奴隷日記

ああ…ナタルは今男子便所でオナニーをしています

入れ替わり立ち代り兵達が入ってくるのに私…

兵の話し声が聞こえると身体が昂ぶるの…

ドアを叩かれるといきまそうになるの…

ああ〜声が漏れてしまっわ…もうダメ

みんなでハメて…ナタルにオマ○コしてえ〜



SEX してイ

☆

000-5698  
♡お27442の002の経理の8695-000

↑ 見ろ!

ぐちゅ  
びゅ

ぬちゅ



「トイレで何回いったんだ？」

「あん…いっぱい…イきましたあ」

「それでもまだ満足出来ないのかよ」

「じゃあ今度は人前でオナニーさせてやる」

「いやあん恥ずかしいですう」

「ほら人が来たぞ脚を広げてオマ○を見せてやれ」

「あ…あああ…いやあ…見られてる…あふう…だめえ」



「ほらほらもっと乳を搾れ  
はははホルスタインみたいだぞナタル  
皆のコーヒーに入れて来い」  
「はあん〜いやあ 出ちやう〜  
ナタルのお乳が出ちやうのお〜」

「お願い…焦らさな〜で…  
ご主人様の手〇ポでイかせてください…」

ジュン

ジュン

チロ

チロ







MON WORKS IV

2006年8月13日発行

発行 コアラ企画

発行人 MON-MON

## あとがき

お買い上げ誠にありがとうございます。  
久しぶりの新刊です。

今回お気に入りかつ流行に乗って「涼○ハ○ヒ」をやりましたが、超～描きにくい。  
がんばって似せようとしたが、これが限界でした。  
原作は未読ですが、アニメは非常に出来がいいですね。  
アニメを何度も観直したのはエヴァ以来ですw


今回、印刷所のセットの関係で望まずして増ページになってしまった訳ですが  
さすがに書下ろしには限界があって、同人DLのオマケ用に製作したナ○ル漫画を  
収録させてもらいました。  
元はコピー誌で未見の人も多いと思いますのでご容赦ください。

10月中旬に巻末のイラストの「露出妻 麗子」の単行本が出る予定ですので、  
絵が気に入って頂けた方に、購入していただけると嬉しいです。

MON-MON

ホームページ <http://jmac.dma-j.net/monmon/>

# MON WORKS



FOR ADULTS